



## 建築技術性能証明書

技術名称：ダイナ・メガ・プレス工法  
一回転貫入ぐい工法

申込者：株式会社シグマベース 代表取締役 榎本 隆彦  
東京都墨田区千歳1丁目8番17号

(本技術の開発は、有限会社勝実建設、株式会社第一工業、マナック株式会社、ホクコンマテリアル株式会社、日研高圧平和キドウ株式会社、株式会社明建と共同で行われたものである。)

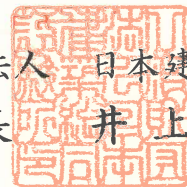
技術概要：本技術は、先端に圧抜き孔と独自形状の窓あきハウス型コーンを設けた円形平板翼を取りつけた鋼管を地盤中に回転貫入し、これをぐいとして利用する技術である。本工法の地盤から決まる押込み方向の鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0568～0581（平成31年3月29日）、および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC建評-18-231A-006～019（2019年1月28日）を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたぐいの地盤から決まる引抜き方向の支持力に関するものである。

開発趣旨：本技術は、鋼管の先端に取りつけた円形平板翼に圧抜き孔と窓あきハウス型コーンを設けることで貫入推進力と掘削力を高め、地層境界でのスリップを低減するとともに、軟岩層等の硬質地盤での施工性の向上を意図して開発したものである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2019年3月29日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 井上 一郎



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および引抜き試験の立会確認により性能証明を行った。

- 資料1：ダイナ・メガ・プレス工法 性能証明のための説明資料
- 資料2：ダイナ・メガ・プレス工法 設計指針
- 資料3：ダイナ・メガ・プレス工法 施工指針
- 資料4：引抜き試験資料

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。  
資料2は、本工法の設計指針であり、支持力算定式などの設計方法が示されている。  
資料3は、本工法の施工指針であり、施工方法および施工管理方法が示されている。  
資料4には、資料1で用いた個々の引抜き試験結果報告書や立会引抜き試験報告書などが取りまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ダイナ・メガ・プレス工法 設計指針」および「ダイナ・メガ・プレス工法 施工指針」に従って設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計指針に定める支持力算定式で適切に評価できる。